杉並区立中央図書館

一般向けパスファインダー

子どもに手渡す本を探す

＜保護者の方や読書ボランティアの方、学校司書の方へ＞

子どもたちに、さまざまな本と出会い、広い世界を知ってもらいたい。

でも、どんな本を手渡せばいいのかな？

そんなときに役立つ「子どもの本の探しかた」を、一冊にまとめました。

★各資料の詳細は、図書館の蔵書検索システム（OPAC）でご確認ください。

（所蔵館によって、出版年や分類番号が異なる場合があります）

◆◇◆ 目 次 ◆◇◆

1.図書館の本を探すには

分類番号から調べる ---------- P.2

蔵書検索システム（OPAC）で調べる ---------- P.3

2.こんなときには（状況別 Q&A）

Q1. どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい ---------- P.5

ノート① 子どもにとって「いい本」って？ ---------- P.6

Q2. 定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい -------- P.7

コラム①「国際子ども図書館」を使いこなそう！ ---------- P.10

Q3. 児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい ---------- P.11

ノート② 児童文学賞・絵本賞の最新情報の調べかたについて ------- P.11

Q4. 子どもの本に関する事典や年表が見たい ---------- P.12

コラム②「東京都立多摩図書館」を使いこなそう！ ---------- P.14

Q5. 読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい ---------- P.15

ノート③ 読み聞かせ・おはなし会に関わる著作権について -------- P.16

Q6. 異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい --- P.17

Q7. 障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい ---------- P.19

ノート④ 障害のある子どもたちと、読み聞かせの可能性 ---------- P.20

Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい ------- P.21

「テーマ・ジャンル」から本を探す ---------- P.21

「登場人物」から本を探す ---------- P.24

「場所」から本を探す ---------- P.25

「日付」から本を探す ---------- P.26

「科学」に関する本を探す ---------- P.27

「進路・職業」に関わる本を探す ---------- P.28

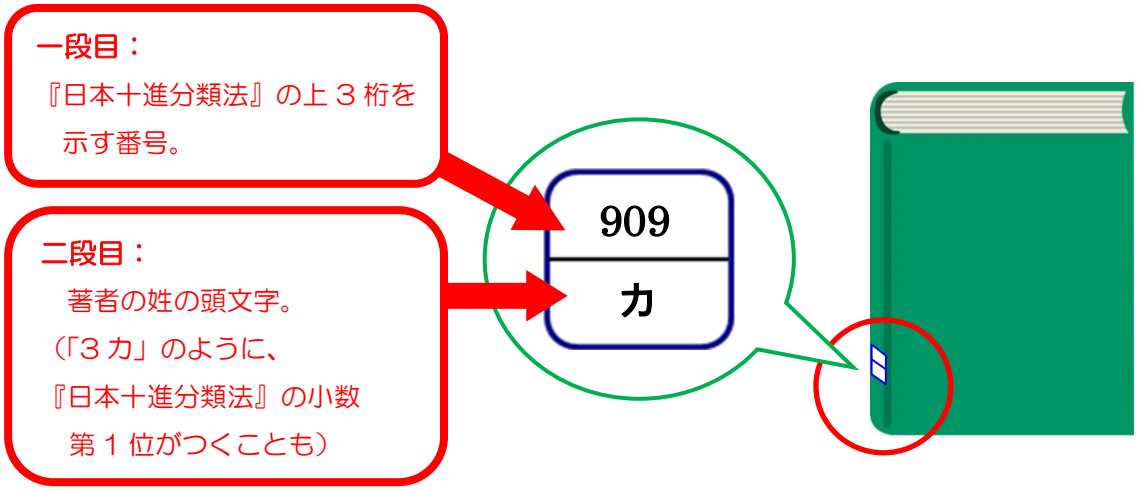
コラム③「東京子ども図書館」・「家庭文庫」に行ってみよう！ ------ P.29

コラム④ 悩みがあるとき、こんな本はいかがですか？ ---------- P.30

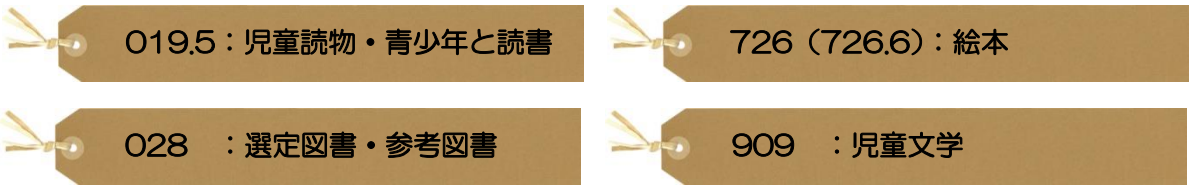
1.図書館の本を探すには

● 分類番号から調べる

杉並区立図書館では、**『日本十進分類法』**（日本の図書館の多くで採用されている方式）に基づく分類ラベルを添付して、資料を整理しています。



子どもの本に関わる資料には、次のような分類番号が割り振られています。どんな本があるか知るには、まずこれらの番号の棚を眺めるのがおすすめです。



★一部、上記の例とは異なる方式で分類されている場合もあります。
蔵書検索システム（OPAC）で検索・ご確認の上、目的の本が見つからないときは、図書館のスタッフにお声がけください。

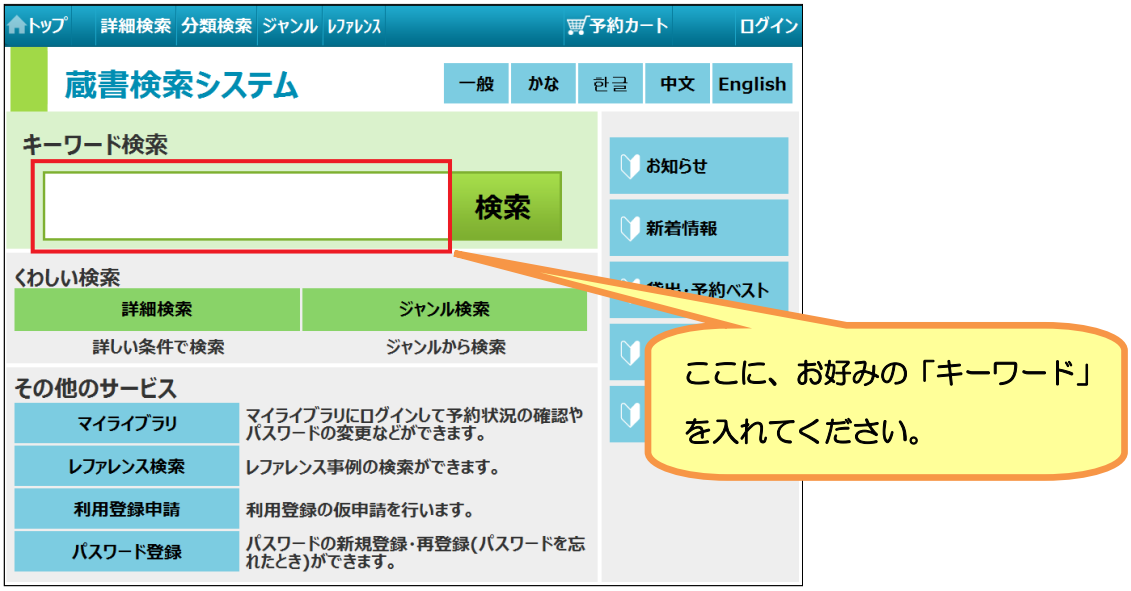
★青枠のラベルは貸出可能な資料、赤枠のラベルは館内利用のみ（禁帯出）の資料です。

★杉並区立図書館で採用している分類やラベルのルールについて、さらに詳しく知りたいときには、図書館ホームページ（トップ＞パスファインダー）の「**パスファインダー 基礎編その１**」のページをご覧ください。

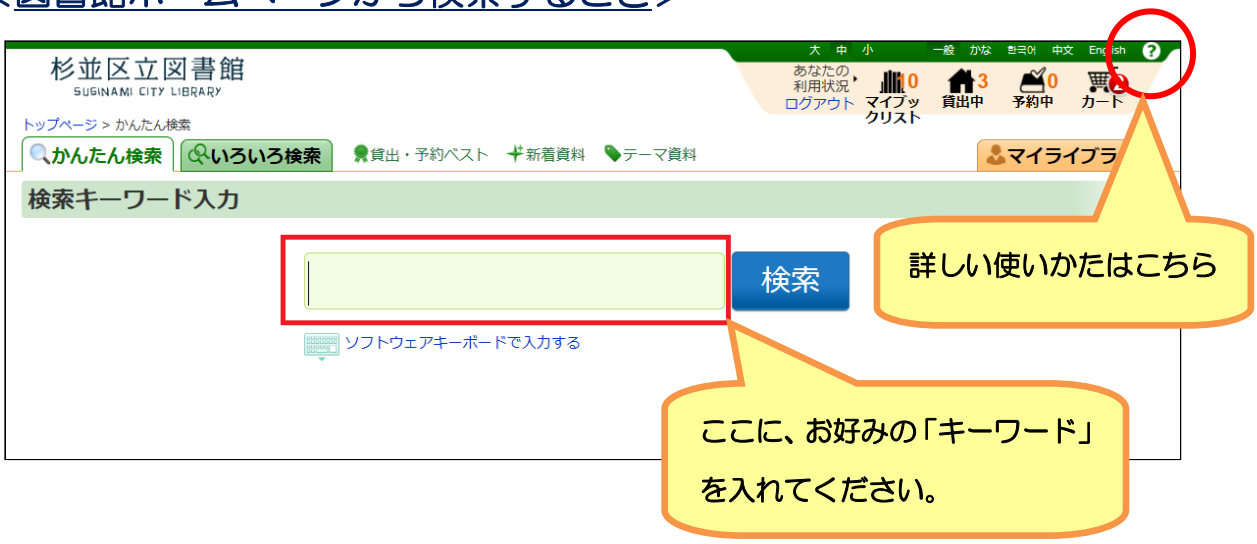
● 蔵書検索システム（OPAC）で調べる

図書館の資料は、蔵書検索システム（OPAC）を使って検索できます。
OPAC は、図書館内の端末機か、図書館ホームページから利用できます。

＜図書館内の端末機から検索するとき＞



＜図書館ホームページから検索するとき＞



★OPAC の詳しい使いかたを知りたいときは、画面右上の「？」マークのところにあるヘルプページ、または、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の「パスファインダー 基礎編その１」のページをご覧ください。

2.こんなときには（状況別 Q&A）

「子どもにこんな本を手渡したい！」の８つのシーン別に、子どもの本の探しかた・調べかたをご案内します。困ったときに、どうぞご活用ください。

Q1 どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい →P.5

Q2 定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい →P.7

Q3 児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい →P.11

Q4 子どもの本に関する事典や年表が見たい →P.12

Q5 読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい →P.15

Q6 異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい →P.18

Q7 障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい →P.20

Q8 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい →P.22

★以降のページで、分類番号の横に「R」とあるのは＜参考資料＞、「児」とあるのは＜児童資料＞、無表記は＜一般資料＞を示しています。

Q1　どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい

まずはできるだけ多くの子どもの本の中から、どんな本があるのか探したい。そんなときに使える目録やデータベースをご紹介します。

『児童文学書全情報』

日外アソシエーツ／編・発行（R909 ニ）

日本で刊行された児童文学に関する研究書や、児童文学作品（ノンフィクションも含む）、全集、アンソロジーなどを網羅的に収録した目録。目次や内容紹介が読めるものもある。巻末には、書名・著者名・挿絵画家索引あり（以上、最新版2016-2019の場合）。
現在までに、以下の巻が刊行されている。

- 『児童文学書全情報 51/90』（1998年刊行）
- 『児童文学書全情報 91/95』（1999年刊行）
- 『児童文学書全情報 1996-2000』（2001年刊行）
- 『児童文学書全情報 2001-2005』（2006年刊行）
- 『児童文学書全情報 2006-2010』（2011年刊行）
- 『児童文学書全情報 2011-2015』（2016年刊行）
- 『児童文学書全情報 2016-2019』（2020年刊行）

「国立国会図書館サーチ（NDL サーチ）」

（https://ndlsearch.ndl.go.jp/）

国立国会図書館の蔵書（同館のデジタルコレクションも含む）と、データ連携している全国の図書館の蔵書が検索できる。国内では最大級の蔵書データベースで、日本の刊行物をできるだけ網羅的に調べたいときに向いている（キーワードはじめ、さまざまな条件設定で検索できます。
「絞り込み条件＞項目追加」で「所蔵場所」を追加し、「国際子ども図書館」を指定すれば、児童書や子どもに関する本だけを絞り込み検索できます）。

「日本児童図書出版協会 **こどもの本 on the web」** （http://www.kodomo.gr.jp/） 日本児童図書出版協会が運営する子どもの本のデータベース。主要出版社から刊行されている本を検索できる。対象年齢別やジャンル別に細かく検索できて便利。	
「絵本ナビ」 （https://www.ehonnavi.net/） テーマ、作品ジャンル（絵本、しかけ絵本、紙芝居、図鑑など）、対象年齢などから絵本を探すことができる。実際に読んだ人、読み聞かせをした人のレビューが書き込まれており、参考にできるのが特徴。一部、ためしよみができるものもある。	

子どもにとって「いい本」って？

子どもたちには、たくさん「いい本」を読んでほしい……でも、「いい本」って、そもそもどんな本でしょう？

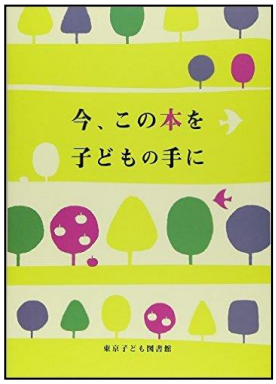
『貸出禁止の本をすくえ！』（アラン・グラッツ／著、ないとうふみこ／訳、ほるぷ出版／発行、2019年、児930ク）は、少女エイミーが、お気に入りの『クローディアの秘密』（カニグズバーグ）が図書館で突然貸出禁止にされたのをきっかけに、自分が読みたい本を読むために立ち上がる話です。いつの時代も、大人は子どもによかれと思っていろいろな本を読むよう薦めたり、読むことを禁止したりしますが、それが「よい本」かどうか、最終的に決めるのは子どもたち自身だということが、よく伝わってくる一冊です。

Q2　定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい

子どもに本を手渡すときは、その子のことを思っている人が、その子の好みを想像しながら選んであげるのが一番です。でも、昔から子どもたちに喜ばれてきた本や、よく読まれている本、おすすめの本を知りたいときには、こんなガイドをどうぞ。

『今、この本を子どもの手に』

東京子ども図書館／編・発行、2015 年（028 ト）



日本を代表する子どもの図書館「東京子ども図書館」（→P.29）によるブックガイド。＜東日本大震災で被災した図書館が、蔵書を再び揃えるときの助けになるように＞という意図で作られた小冊子を元にしている。子どもの手に届くところにぜひ置いておきたい本を、刊行年代や対象年齢、ジャンルなどのバランスを考えつつ厳選。

『絵本の庭へ』『物語の森へ』『知識の海へ』

東京子ども図書館／編・発行（028 ト）

上記「東京子ども図書館」が、1950 年代以降に刊行された絵本（『絵本の庭へ』、2012 年刊行）、児童文学作品（『物語の森へ』、2017 年刊行）、ノンフィクション作品（『知識の海へ』、2022 年刊行）の中から、長く読み継がれている作品を厳選して紹介。基本的な書誌情報、あらすじやその作品の魅力の解説が読める。巻末に、書名・人名・件名索引あり。

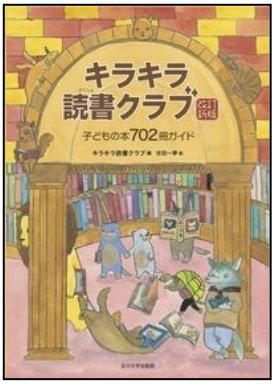
『ひとりでよめたよ！ 幼年文学おすすめブックガイド 200』

大阪国際児童文学振興財団／編、評論社／発行、2019 年（019.5 オ）

小学 3 年生頃までの子どもたちに読んであげたい本、また、ひとりでも読めるような幼年文学を紹介するブックガイド。司書、児童文学研究者、書店員などが読みどころを解説する。巻末に書名索引とキーワード索引あり。

『キラキラ読書クラブ 子どもの本 702 冊ガイド 改訂新版』

キラキラ読書クラブ／編、住田一夢／絵、
玉川大学出版部／発行、2014 年（児 010 キ）



子どもたちが自分自身で読みたい本を探せるように作られたブックガイド。ベテランの図書館員が選んだ 702 冊の本が、「ごちそう」「魔女」「おばけ」といったテーマ別に配列されている。巻末には「キーワード索引」「外国名索引」「主人公の年齢別索引」がついている。

「新・どの本よもうかな？」シリーズ

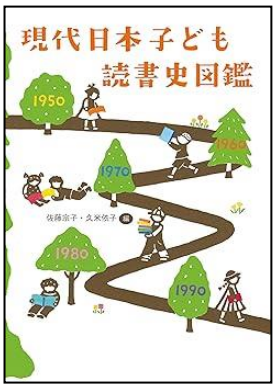
日本子どもの本研究会／編（児 010 ニ）

読書教育の実践と研究を行っている「日本子どもの本研究会」の会員たちが、「これだけは読んでほしい」と思う本を選んだブックガイド。現在までに、以下の巻が刊行されている。
巻末に、キーワードから探せる事項索引あり。

「1・2 年生」「3・4 年生」「5・6 年生」
（以上、国土社／発行、2011 年刊行）
「日本編 中学生版」「海外編 中学生版」
（以上、金の星社／発行、2014 年刊行）

『現代日本子ども読書史図鑑』

佐藤宗子、久米依子／編、柊風舎／発行、2023 年（R019.5 サ）

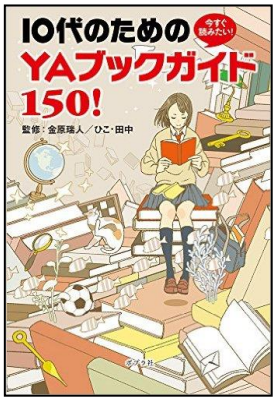


1950～1999 年に刊行された絵本、創作、翻訳、ノンフィクション、評論の中から、日本の子ども読書史に残る約 600 作品を収録。各作品の成立・出版の経緯や、その作品にどんな魅力があり、どう読まれてきたのかを児童文学研究者らが解説する。作品の背景をしっかりと理解した上で作品を手渡したいときにおすすめ。巻末には作品名・人名索引あり。

『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 300』（東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会／編著）
『もっとある！学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 220』（同上）
ぺりかん社／発行、2017 年・2020 年（019.5 ト）

現役の中学・高校の司書と司書教諭が、図書館の分類と同じ０(総記)～９(文学)のテーマ順に、おすすめの本を紹介する。対象学年を定めず絵本から新書までバラエティに富んでいるので、意外な本との出会いがあるかも。気さくに話しかけてくるような司書たちの紹介コメントも魅力。

**『今すぐ読みたい！
10 代のための YA ブックガイド 150！』**
金原瑞人、ひこ・田中／監修、ポプラ社／発行（YA010 ホ）



翻訳や書評で活躍する２人が監修したブックガイド。作家や翻訳者、書店員、司書、児童文学研究者などが、最近読んだ本の中から、10 代の子どもたちに「これおもしろいよ」と手渡したくなったものを選び、おすすめ記事を書いている。１巻目は 2015 年、２巻目は 2017 年刊行。
※同監修者（金原瑞人氏）による「12 歳からの読書案内」シリーズ（すばる舎、2005～2017 年刊行）もおすすめ。

「NPO ブックスタート」
（https://www.bookstart.or.jp/）

赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」を手渡すブックスタート活動の普及を進めるNPO団体のホームページ。３年に１度、選考会議を開き、ブックスタートで手渡される絵本の候補となる「ブックスタート赤ちゃん絵本 30 冊」を選出し、そのリストを公開している。
※リストは、「トップ＞読みもの＞ブックスタート事業＞ブックスタート赤ちゃん絵本／2001 年度から現在まで」のページで見ることができます。

コラム① ◆「国際子ども図書館」を使いこなそう！

「国際子ども図書館」（東京都台東区上野公園）は、国立国会図書館の分館として作られた、日本最大の子どもの本の図書館です。1906（明治 39）年建築の帝国図書館を利用した瀟洒な建物には、「子どものへや」**「世界を知るへや」**（→P.19）などの他、「児童書研究資料室」、ギャラリー、カフェなども併設され、子どもも大人も楽しめる施設となっています。定期的におはなし会なども行われています。

図書館のホームページ（https://www.kodomo.go.jp/）にも、便利なコンテンツがたくさん。**蔵書データベース**（→P.5）の他、イベント情報、過去の展示会資料、**国内外の主要な児童文学賞や絵本賞に関するニュース**（→P.11）などが見られます。おすすめは**「電子展示会」**で、Web 上で古典絵本の画像をじっくり眺めたり、朗読を聴いたりすることができます。ぜひ、ご活用を！

Q3　児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい

児童文学賞・絵本賞の情報を参考に本を選びたいときは、次の資料が役立ちます。

『児童の賞事典』
日外アソシエーツ／編・発行、2009 年（R909 ニ）

児童の文化に関わる賞について、過去の受賞者・受賞作品を探すことができる。美術や科学に関する賞など、文学以外の分野の賞も収録。国外の代表的な賞についても収録する他、巻末には受賞者名索引がついている。

『賞をとった子どもの本　70 の賞とその歴史』
ルース・アレン／著、こだまともこ／監訳、
玉川大学出版部／発行、2009 年（R909 ア）

コールデコット賞、カーネギー賞など、英語圏の児童文学賞・絵本賞の受賞作品を探せる。賞が創設された経緯や歴史など、解説も充実。邦訳されているものには、訳書の書誌情報も付されている。巻末に欧文・和文のタイトル・人名索引あり。

『絵本・児童文学賞受賞作索引 2017-2023』
DB ジャパン／編・発行、2024 年（R909 テ）

2017～2023 年に発表された国内の絵本・児童文学賞５１賞の受賞作約 740 点を、テーマ・ジャンル別に紹介。巻末にはテーマ・ジャンル別分類見出し索引あり。

児童文学賞・絵本賞の最新情報の調べかたについて

上のような冊子媒体では、刊行後の受賞情報までは調べることができません。「今年のコールデコット賞作品は？」などの最新情報が知りたい場合は、各賞の主催団体に問い合わせるか、その団体のホームページなどを調べます。

また、**国際子ども図書館のホームページ**（https://www.kodomo.go.jp/）には、**「子どもと本に関するニュース」**として、主要な賞の情報が掲載されています。バックナンバーも閲覧できますので、ぜひご活用ください。（→コラム①「国際子ども図書館を使いこなそう！」：P.10）

Q4　子どもの本に関する事典や年表が見たい

子どもの本に関する調べものをする際、知りたいことの概要をつかむために、まず手に取りたい事典・年表類には、次のようなものがあります。

『児童文学事典』

日本児童文学学会／編、東京書籍／発行、1988 年（R909 ニ）

国内外の児童文学について、主要な人名・雑誌名・団体名・事項名など、2404 項目を採用した事典。本書の一部の電子版が、日本児童文学学会のホームページ上（https://jsfcl.jp/index.html）で公開されている。

『日本児童文学大事典　第 1 巻～第 3 巻』

大阪国際児童文学館／編、大日本図書／発行、1993 年（R909 オ）

日本の児童文学とその関連分野における項目を広く採用した事典。第 1～2 巻に人名、第 2 巻に事項名と逐次刊行物、第 3 巻に叢書と文学賞 134 項目を収録。日本児童文学の分野では最大規模の事典。第 3 巻の巻末に索引あり。

『日本児童文学史事典―トピックス 1945-2015』

日外アソシエーツ／編・発行、2016 年（R909 ニ）

1945～2015 年に起きた日本の児童文学史上の主な出来事をまとめた年表。各年について、ベストセラー、著名作品の刊行、出版事情、物故者、受賞情報、読書運動の動向などが取り上げられている。巻末に人名・作品名・事項名索引あり。

『絵本の事典』

中川素子［他］／編、朝倉書店／発行、2011 年（R726 ナ）

国内外の絵本について、多様な角度から解説した事典。
日本の絵本についてはもちろん、「ドイツの絵本」「中国の絵本」など外国の絵本の動向や、ブックスタートなど読書運動との関わり、自然科学の絵本や仕掛け絵本のことなど、あらゆる側面から絵本というメディアに光を当てている。巻末には、文献ガイド、関連団体、絵本の賞、関連施設などの資料と、事項・人名・書名索引もあり。

『世界の絵本・作家 総覧』

O.L.V.・おおぶ文化交流の杜図書館／編、勉誠社／発行、2024 年（R909 ニ）

英米の他、アジア、中南米諸国、アフリカなど、これまで紹介される機会が少なかった地域も含む約 80 カ国の絵本・作家を紹介。19 世紀～現代の約 900 名の絵本作家の略歴と翻訳作品リストの他、各国の絵本の略史、各国を舞台にした絵本のリストなども収録している。巻末に作家名索引あり。

『オックスフォード世界児童文学百科』（新版）

ダニエル・ハーン／編著、 白井澄子・西村醇子・水間千恵／監訳、原書房／発行、2023 年（R909 ハ）

イギリスを主軸とした英語圏の児童文学について、作家、作品、イラストレーター、登場人物名など、約 3500 項目を採用した百科事典。現代の作家・作品や、ジェンダー・コミックなどの約 900 項目を新たに追加した改訂新版。原書が刊行された 2015 年の前年までの情報が収録されている。

『子どもの読書を考える事典』

汐﨑順子／編、朝倉書店／発行、2023 年（R019.5 シ）

「つくる」「読む」「つなぐ」の三つの観点から、子どもの読書に関する理論と実践をまとめた事典。子どもと本の現場をよく知る司書、研究者、作家、教育関係者らが執筆している。子どもの本の歴史、出版、制作方法、作品ジャンル、各種メディアとの関係、障害と読書、子どもと本をつなぐ場・つなぐ方法など、あらゆる角度から子どもの読書について知ることができる。巻末に年表とタイトル・キーワード索引あり。

コラム② ◆「東京都立多摩図書館」を使いこなそう！

「東京都立多摩図書館」（東京都国分寺市泉町）は、東京都立図書館の分館で、主に雑誌と児童書を収集しています。子ども向けのおはなし会なども行われています。

同館のホームページ（https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/）にも、便利なコンテンツがたくさん。たとえば、**「都内図書館統合検索」**は、同館の他、東京都内の区市町村立図書館、国立国会図書館の蔵書を横断検索できるデータベースです。また、とくにおすすめなのは、**「こどもページ」**内にある**「子供の読書に関わる方のページ」**。年代別の子どもの本のブックリストや、読み聞かせの手引、自由研究のヒント集などを PDF 形式でダウンロードしたり、子どもと読書に関する Q&A を読んだりできます。都内の学校図書館への支援情報が読める**「学校支援サービス」**も、ぜひご活用ください。

Q5　読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい

子どもに本を読み聞かせるときや、おはなし会を開くときなど、どんな本を選び、どんな流れで本を紹介すればよいか、迷ってしまいがちです。そういうとき、こんな本はいかがでしょうか。いずれも、読書ボランティア活動などにはもちろん、ご家庭での読み聞かせの際にも参考になるガイドブックです。

『よみきかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』

東京子ども図書館／編・発行、2018 年（019.5 ト）

保育園、幼稚園、学校などでの読み聞かせにおすすめの絵本を紹介するブックガイド。ジャンル、対象年齢、所要時間が明記されており、巻末にはキーワードから探せる件名索引もついていて使いやすい。会場の整えかたや絵本の持ちかたといった基本的な事項、お話会プログラム例も掲載されている。

『ブックトークのきほん 21 の事例つき』

東京子ども図書館／編・発行、2016 年（019 ト）

テーマに沿って本を紹介する「ブックトーク」は、子どもを本の世界に招き入れる手法のひとつ。興味をさそい、その先を読みたいと思わせるための効果的方法やアドバイスが紹介されている他、トークの言葉をそのまま文章にしたシナリオや、各地の図書館司書の実践報告も多数読める。

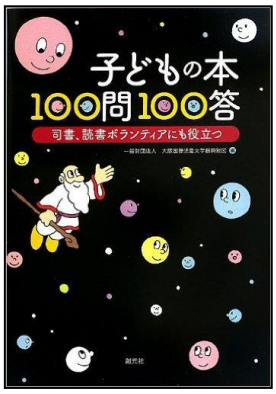
『小学校での読み聞かせガイドブック 改訂版』

湯沢朱実［他］／編著、プランニング遊／発行、2014 年（019.5 ユ）

小学校の朝読書の 15 分を想定した読み聞かせのプログラムを、学年別に紹介。プログラムは、家庭文庫や学校での豊富な読み聞かせ経験に基づいて組まれており、作品の読みかたのポイントや、事前準備、絵本の持ちかた、記録の取りかたなど、細かく知ることができる。

『子どもの本 100 問 100 答
司書、読書ボランティアにも役立つ』

大阪国際児童文学振興財団／編、創元社／発行、2013 年（019.5 オ）



2010 年に閉館・移転した「大阪国際児童文学館」の職員が、当時のレファレンス経験を中心に、子どもの本に関する Q&A をまとめたもの。「読書活動のボランティアを始めるには、どうすればいいですか？」「絵本を集団に読むとき、評価の定まった本を読む方がいいのでしょうか？」など、読み聞かせ活動の参考になる質問も多く収録されている。

『読書ボランティア　―活動ガイド―』

広瀬恒子／著、一声社／発行、2008 年（019 ヒ）

「親子読書地域文庫全国連絡会」代表を務める著者が、読み聞かせの本を選ぶ際の基本的な考えかたや、おはなし会のプログラム作りのコツを紹介。その他、読書ボランティアの仲間づくりや、活動する上でのマナー、学校や行政と関わる上での課題なども解説している。おすすめの本のリストも掲載。

「その本、読みたい！」シリーズ

村上淳子／編著、国土社／発行、2013 年（019.5 ム）

朝読書などの短い時間でもできる、1 冊の本の読み聞かせと、3 冊のおすすめ本の簡単な紹介「ぷちブックトーク」を組み合わせたプログラムの実践例を掲載。
「低学年」編と「高学年」編の 2 冊が刊行されている。

『乳幼児おはなし会とわらべうた』

落合美知子／著、児童図書館研究会／発行、2017 年（015 オ）

乳幼児向けおはなし会を開催するときの手順やプログラムの作りかた、わらべうたの大切さなどを解説。楽譜・遊びかたつきの「親子でたのしむわらべうた集」や、乳幼児おはなし会でよく読まれる絵本一覧などの資料も充実している。続編として、赤ちゃん向けおはなし会についてまとめた『赤ちゃんとわらべうた』（2023 年）も刊行されている。

『地域を変えた「絵本の読み聞かせ」のキセキ』

世代間交流プロジェクト「りぷりんと・ネットワーク」／編著、藤原佳典／監修、ライフ出版社／発行、2015 年（019 セ）

60 歳以上のシニアが子どもたちに読み聞かせを行う、学校支援ボランティアのプロジェクト「りぷりんと」が、その 10 年間の軌跡をまとめたもの。シニアボランティアが選ぶ絵本 101 点と、子どもたちの反応も掲載。

読み聞かせ・おはなし会に関わる著作権について

S

読み聞かせ・おはなし会をする際に関わってくる「著作権」のこと、ご存知ですか？たとえば、読み聞かせの動画を配信したいとき、集団に読み聞かせをするため、絵本を模写・コピーして、拡大版を作成するときなど……。「児童書四者懇談会」では、**「お話会・読み聞かせ団体等による著作物の利用について」**という手引きを公開しています（日本書籍出版協会のホームページ（https://www.jbpa.or.jp/）＞トップ＞ガイドライン＞読み聞かせ著作権）。気づかないうちに、好きな作品を生み出してくれた著作者の権利を侵害してしまわないよう、ぜひ一読しておきましょう。

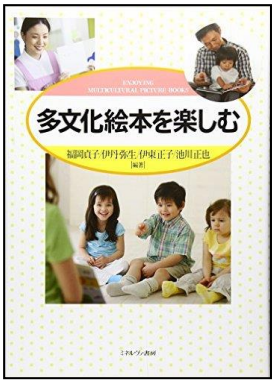
Q6　異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい

異文化に接したり、外国の人と友だちになったりする機会も増えた今の子どもたち。子どもの本は、そんなときにも強い味方になってくれます。異文化の理解に役立つ本、外国語で書かれた本を探したいときには、こちらをどうぞ。

★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」（→P. 22）でご紹介した本やホームページでも、外国名などの件名を使って探せる場合があります。

『多文化絵本を楽しむ』

福岡貞子［他］／編著、ミネルヴァ書房／発行、2014 年（371 フ）



「せかいちずえほん」、「北極圏のイヌイットやネイティブアメリカンの暮らし」など、テーマ・地域別に絵本を紹介する第 1 章、「ハーフとして育つ息子に読む絵本」など、多文化の中での育児を取り上げる第 2 章、保育所・幼稚園・文庫などでの多文化絵本の届けかたを紹介する第 3 章から成る。
多文化＝外国の文化ではないと気づかせてくれるのも魅力。

『多文化に出会うブックガイド』

世界とつながる子どもの本棚プロジェクト／編、
読書工房／発行、2011 年（019.5 セ）

多文化社会の理解を助けてくれる絵本、児童文学、ノンフィクションなど、655 点を紹介するブックガイド。作家、翻訳家などによるメッセージを集めた第 1 章、各国・地域ごとに本を紹介する第 2 章、教育現場などでの実践報告を集めた第 3 章から成る。さまざまな言語の書籍を扱う書店リストも収録。

『楽しみながら外国語を学べる 対訳＆多言語の絵本・児童文学 2000-2019』

DB ジャパン／編集・発行、2021 年（R028 テ）

2000-2019 年の間に刊行された絵本・児童文学から、日本語と外国語が併記されているものを探すことができる。本のテーマ、ジャンルで分類されており、英語・ドイツ語・中国語・韓国語・タガログ語など 11 言語が対象となっている。

『読み聞かせのための音のある英語絵本ガイド』

外山節子／監修・著、宮下いづみ／著、コスモピア編集部／編、コスモピア／発行、2010 年（019.5 ミ）

英語で読み聞かせをしたい人のために、おすすめの英語絵本と、その音源情報を掲載したガイドブック。あらすじやその絵本をおすすめする理由、発音や読みかたのヒントなども解説されている。英語絵本や音源の入手方法（書店、ネットでのダウンロードなど）の案内つき。

「国際子ども図書館」

（https://www.kodomo.go.jp/）

上野の国際子ども図書館 1 階には、「世界を知るへや」として、国際理解を深めることを目的とした本や外国語の本が集められており、手に取って眺めることができる。また、外国語に翻訳された日本の子どもの本もコレクションされている。
外国の子どもの本を紹介する展示会などが開催されることも多く、ホームページの「展示会・イベント」のコンテンツから、過去の展示会資料を探してみるのもおすすめ。
（→コラム①「国際子ども図書館」を使いこなそう！：P.10）

「いたばしボローニャ子ども絵本館」

（https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/bologna/index.html）

イタリアの「ボローニャ児童図書展」事務局から寄贈された約 100 か国、3万冊、80 言語の絵本を所蔵する海外絵本の図書館。板橋区平和公園内の板橋区立中央図書館に併設されており、蔵書は板橋区立図書館ホームページから検索できる。

Q7　障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい

視覚・聴覚障害、知的障害、発達障害などがある子どもたちが楽しめる本、「バリアフリー」を意識した読みやすい本も、いろいろな方法で探すことができます。

★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」（→P.22）でご紹介した本やホームページでも、各障害名などの件名から探せる場合があります。

『特別支援学校での読み聞かせ　増訂版
都立多摩図書館の実践から』

東京都立多摩図書館／編集・発行、2024 年（S00.01 ト）

東京都立多摩図書館が特別支援学校の幼稚部～高等部で読み聞かせを行ってきた中で、子どもたちが喜んだ本、手ごたえを感じた本を紹介。障害の種類に応じて章分けし、あらすじや特色、読み方の工夫、実際の反応をまとめている。また、おはなし会の実施方法や、使えるグッズなどの情報も掲載。
※東京都立図書館ホームページでも公開中（→P.14）。

『絵本でひらく心とことば　読み聞かせで発達支援』

本と子どもの発達を考える会／著、かもがわ出版／発行、2019 年（019.5 ホ）

子ども病院などで子どもたちに読み聞かせをしてきたメンバーが、これまでの経験からおすすめの絵本を紹介。＜この場面では子どもの手をぎゅうっとにぎる＞など、絵本を楽しみながら子どもの発達を支援するための具体的な読みかたがアドバイスされている。絵本と発達に関するコラムも充実。

「ハートフルブック」

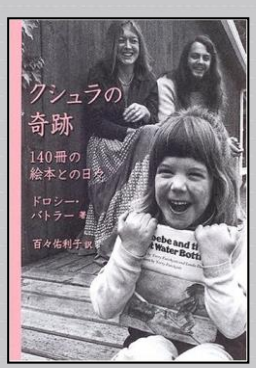
（https://heartfulbook.jp/）

「LL ブック」（文字を読んだり理解したりすることが苦手な人がやさしく読めるように工夫された本）の情報をまとめたポータルサイト。LL ブックの基本を学んだり、どんな作品があるか知ったり、Web 上で LL ブックを作成したりできる。

「ようこそバリアフリー絵本の世界へ」 （http://www.bf-ehon.net/）	
2002 年の「世界のバリアフリー絵本展」をきっかけに生まれたホームページ。バリアフリー絵本展や、関連イベントのニュースが読める他、バリアフリー絵本、点字つき絵本、布絵本などのリスト、入手先情報、関連団体も紹介している。	
「点字つき絵本の出版と普及を考える会」 （https://tenji.shogakukan.co.jp/）	
出版社、印刷会社、書店、大学、点訳ボランティアなどによって運営されている会のホームページ。＜目の見えない人と見える人がいっしょに絵本を楽しめるようになること＞を目標に、点字つき絵本の出版促進を目指している。現時点で入手可能な、点字つき絵本やさわる絵本のリスト（絶版・品切れの絵本も別リストとして掲載されている）を見ることができる。	

障害のある子どもたちと、読み聞かせの可能性

『クシュラの奇跡―140 冊の絵本との日々』（ドロシー・バトラー／著、百々佑利子／訳、のら書店／発行、2006 年（909 ハ）※1984 年刊行書の普及版）は、重い障害を持つクシュラという女の子の、生後３年間の記録です。絵本の読み聞かせが、障害のある子どもの世界をどれほど豊かにするかを示す貴重な記録として、長く読み継がれてきました。障害の有無によらず、優れた物語や絵は生きることを価値あることにしてくれる。また、それだからこそ、本を手渡す大人の存在は大切だと、教えてくれる一冊です。



Q8　特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい

具体的な書名や著者名に見当がついているわけではないけれど、〇〇がテーマの本が読みたい、△△という主人公が出てくる本の題名を思い出したい、ネコが登場する物語が読みたい……といった曖昧な調べ物には、次の本やホームページが役立ちます。

★「Q1. どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい」（→P.5）でご紹介した、各種データベースのキーワード検索なども、合わせてお試しください。

●「テーマ・ジャンル」から本を探す

『テーマ別絵本リスト　保育・子育て　絵本の住所録』

舟橋斉、富田克巳／編著、三学出版／発行、2017 年（028 フ）

主に 0 歳～就学前の子どもを対象にした絵本を、テーマ別に分類したリスト。季節や行事（入園、遠足、もちつきなど）、生活習慣（給食、午睡、散歩など）、友だち、動物など、保育と子育ての現場でよく求められるテーマが選ばれている。絵本の選び方や、実践例などの解説も合わせて収録する。

『テーマ・ジャンルからさがす乳幼児絵本』
『テーマ・ジャンルからさがす物語・お話絵本 1・2』

DB ジャパン／編・発行（R909 テ）

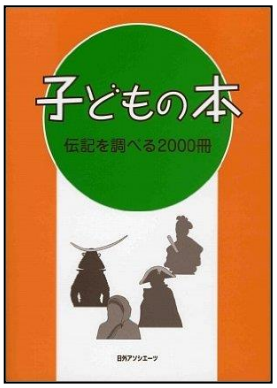
「乳幼児絵本」（2014 年刊行）は、1964～2013 年に国内で刊行された絵本のうち、赤ちゃん・乳幼児向けの 5911 点を、テーマ・ジャンル別に分類して紹介する。
「物語・お話絵本」（2011 年刊行）は、1953～2010 年に国内で刊行された絵本のうち、日本と世界の物語・お話 16449 点を、テーマ・ジャンル別に分類して紹介する。

「子どもの本」シリーズ

日外アソシエーツ／編・発行、2005 年～（R028 ニ）

小学生以下を対象にした図書を、分野別に紹介。
目次や簡単な内容紹介が読めるものもある。
近年では、たとえば以下のテーマの巻が刊行されている。

- 「科学を楽しむ 3000 冊」
- 「歴史にふれる 2000 冊」
- 「教科書にのった名作 2000 冊」
- 「日本の古典をまなぶ 2000 冊」
- 「情報教育・プログラミングの本 2000 冊」
- 「総合学習国際社会に生きる力を育む 2000 冊」
- 「総合学習郷土・地域とのつながりを考える 3000 冊」
- 「人物・伝記を調べる 2000 冊」
- 「365 日誕生日に読みたい 1500 冊」
- 「心ゆたかに美術・音楽 2000 冊」
- 「くらしとお金をまなぶ 2000 冊」



「ヤングアダルトの本」シリーズ

日外アソシエーツ／発行、2008 年～（R028 ヤ）

中高生を中心にしたヤングアダルト世代を対象にした図書を、分野別に紹介。簡単な内容紹介が読めるものもある。
近年では、たとえば以下のテーマの巻が刊行されている。

- 「部活をきわめる 3000 冊」
- 「高校教科書の文学 3000 冊」
- 「18 歳からの選挙権 2000 冊」
- 「ノベライズ化作品 3000 冊」
- 「悩みや不安迷ったときに読む 4000 冊」
- 「社会を読み解く 4000 冊」
- 「将来の仕事・資格に出会う 3000 冊」
- 「高校国語入試に出た 3000 冊」
- 「SDGs を理解するための 3000 冊」

（以上、日外アソシエーツ／編）

- 「ボランティア・国際協力への理解を深める 2000 冊」

（NPO 研究情報センター／編）

『絵本の庭へ』『物語の森へ』『知識の海へ』 東京子ども図書館／編・発行（028 ト） 巻末に書名・人名・件名索引があり、件名索引では、「クマ」「コロッケ」「愛情」「失敗」「自分探し」など、具体的なものから抽象的なものまで、さまざまな件名から本を探せる。	→ 詳細は P.7 へ
『キラキラ読書クラブ 子どもの本 702 冊ガイド 改訂新版』 キラキラ読書クラブ／編、玉川大学出版部／発行、2014 年（児 010 キ） 「ごちそう」「魔女」「おばけ」など、テーマ別に本が紹介されており、巻末には「キーワード索引」「外国名索引」「主人公の年齢別索引」がついている。	→ 詳細は P.8 へ
「新・どの本よもうかな？」シリーズ 日本子どもの本研究会／編（児 010 ニ） 巻末に事項索引があり、「家出」「うそ」「冒険」（中学生版の例）などの言葉から本を探すことができる。	→ 詳細は P.8 へ
「鳴門教育大学 子どもの心を理解するための絵本データベース」 （https://naruto.repo.nii.ac.jp/） 鳴門教育大学で作成した絵本のデータベース。子どもの心に関する視点から、絵本の主題別検索ができる。 6 個の大主題（「生活と自立」「自我・自己形成」「友達・遊び」「性格」「心」「家族」）の元に、さらに 280 の細かい主題（「お風呂に入る」「動物の世話をする」「一人旅」など）を設定し、絵本を分類・収録。主人公の性別や年齢層からも検索できる。	

●「登場人物」から本を探す

「日本の物語・お話絵本 登場人物索引」シリーズ
「世界の物語・お話絵本 登場人物索引」シリーズ
「日本の児童文学　登場人物索引」シリーズ
「世界の児童文学　登場人物索引」シリーズ

DB ジャパン／編・発行、2004 年～（R909 テ）

日本／海外の絵本／児童文学の登場人物の名前から、作品名・作者名などを探せる索引。
「物語・お話し絵本 登場人物索引」シリーズは絵本の刊行年代別に、「児童文学　登場人物索引」シリーズは「単行本篇」「アンソロジー篇」「民話・昔話集篇」などのジャンル別に巻が分けられている。
同シリーズとして、紙芝居が対象の『紙芝居登場人物索引』（2009・2016 年、R909 テ）もあり。

『世界・日本　児童文学登場人物辞典』

定松正／編、玉川大学出版部／発行、1998 年（R909 サ）

国内外における代表的な児童文学の、412 の登場人物を取り上げた辞典。作品名・作者名がわかるだけでなく、その人物の特徴や作品中での働きが、詳しく解説されている。1980 年代くらいまでに書かれた、今では古典とされる作品の登場人物が中心。巻末に児童文学・文化年表あり。

『英米児童文学　作品・登場人物事典』

定松正／編、松柏社／発行、2012 年（R909 サ）

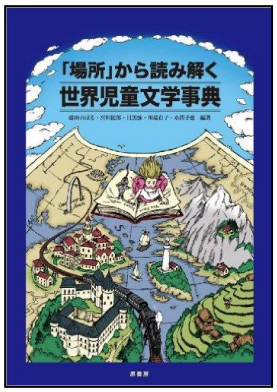
『クリスマス・キャロル』（ディケンズ／著）から、『ハリー・ポッターと賢者の石』（J・K・ローリング／著）まで、英米の代表的な児童文学のあらすじと作家紹介、主な登場人物紹介が読める。巻末に、作品・作家・登場人物の索引あり。

●「場所」から本を探す

『「場所」から読み解く世界児童文学事典』

藤田のぼる［他］／編著、原書房／発行、2014 年（R909 フ）

「屋根裏部屋」「陸上競技場」「図書館」など、さまざまな「場所」を印象的に描いた、国内外の児童文学を紹介する。「つどう」「くらす」「あそぶ」「であう」など、８ つに分類された 200 の「場所」の名前から、作品を探すことができる。



●「日付」から本を探す

『子どもの本のカレンダー　増補改訂版』

鳥越信、生駒幸子／編著、創元社／発行、2009 年（028 ト）

「ぼくのお誕生日に事件が起こる話が読みたい」という子どもからのリクエストに応えて編まれた、１ 年 366 日分・366 冊のブックレビュー。
たとえば「10 月 14 日」は、主人公の双子・ロッテとルイーゼの誕生日ということで、『ふたりのロッテ』（ケストナー／著）を取り上げるなど、その日付に関連のある作品を紹介する。

『別冊太陽　365 日、まいにち絵本！』

生田美秋／監修、平凡社／発行、2008 年（019.5 ヘ）

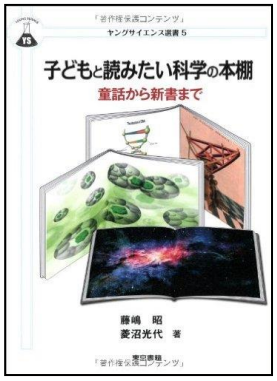
１ 月は「元日」、２ 月は「節分」、３ 月は「卒園式」というように、節目ごとに触れたい絵本を、１ 年の流れに沿って紹介する。各季節のメジャーな行事・出来事の定番絵本はもちろん、６ 月 10 日は「時の記念日」で『ねぼすけはとどけい』（スロボドキン／作）が挙げられるなど、少しひねりをきかせたものも。

●「科学」に関する本を探す

★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」（→P.22）でご紹介した本やホームページでも、「宇宙」や「昆虫」などの件名から探せる場合があります。

『子どもと読みたい科学の本棚　童話から新書まで』

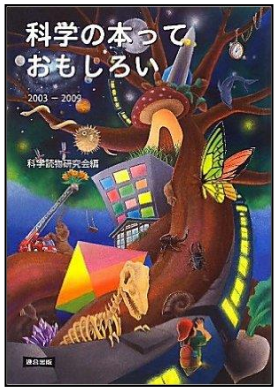
藤嶋昭、菱沼光代／著、東京書籍／発行、2013 年（403 フ）



科学者・サイエンスライターの著者によって発足された「科学童話研究会」が企画・選定したブックガイド。一般的な「科学読物」はもちろん、『もりのなか』（エッツ／作）を「自然／動物／心」というキーワードで紹介するなど、小さな子が科学に関心を持つきっかけになりそうな創作の絵本や児童文学も、幅広く取り上げている。

「科学の本っておもしろい」シリーズ

科学読物研究会／編、連合出版／発行（403 カ）



「科学読物研究会」による、「科学入門」「数学・物理・化学」「植物」などの分野別に科学読物を紹介するブックガイド。1980 年代から改版を重ねており、最新版は『科学の本っておもしろい 2003-2009』（2010 年刊行）。なお、同会のホームページ（https://kagakuyomimono.net/）には、より新しい本も探せるデータベース「科学読物データバンク」がある。

『子どもの本　科学を楽しむ 3000 冊』

日外アソシエーツ／編・発行、2010 年（R028 ニ）

2000 年以降に日本で刊行された小学生以下対象の図書の中から、理科・算数・宇宙・自然・恐竜・植物・動物・人体など、科学について書かれたもの 2922 冊を収録。

→ シリーズの詳細は P.23 へ

●「進路・職業」に関する本を探す

★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」（→P. 22）でご紹介した本やホームページでも、各職業名などの件名から探せる場合があります。

『中高生のためのブックガイド　進路・将来を考える』

佐藤理絵／監修、日外アソシエーツ／発行、2016 年（028 ニ）

中高生が進路や将来について考える際に参考となる図書 609 冊を収録。目次や簡単な内容紹介も読める。
「学校生活から将来へ」「仕事・職業を知る」「進路・進学先を選ぶ」「受験術・アドバイス」の章の元、分野別に並べられている。職業選択に役立つ本はもちろん、それ以前の「なぜ勉強するか」「どの学校で何を学ぶか」「どう学べばいいか」などの疑問に応える本も数多く紹介。巻末に、学問の分野名や職業名などから本を探せるキーワード索引あり。

『ヤングアダルトの本
将来の仕事・資格に出会う 3000 冊』

日外アソシエーツ／編・発行、2020 年（R028 ヤ）

2011～2019 年に国内で刊行された図書の中から、329 の職業・資格に関する 3743 冊を収録。簡単な内容紹介も読める。巻末に、「パティシエ」「ゲームクリエイター」「イラストレーター」など、個々の職業名から本を探せる職業名索引あり。

→ シリーズの
詳細は P.23 へ

コラム③ ◆「東京子ども図書館」・「家庭文庫」に行ってみよう！

「東京子ども図書館」（東京都中野区江原町）は、東京都内にあった４つの家庭文庫を母体として 1974 年に設立された、子どもの本専門の私立図書館です。

「家庭文庫」とは、個人が自宅を開放し、その蔵書を近所の子どもたちなどに貸し出す営みのことです。上記 4 文庫のうちの一つは、子どもの本の作家・翻訳者・編集者として活躍した石井桃子さんが、杉並区の荻窪で 1958 年に開いた【かつら文庫】でした。現在も同地で、「東京子ども図書館」がその活動を引き継いでいます。石井さんは、かつら文庫での実践を『子どもの図書館』（岩波書店／発行、1965 年）という本にまとめており、それは日本各地に家庭文庫が広がるきっかけにもなりました。杉並区内では、今も複数の家庭文庫が活動を続けています。

身の回りの子どもたちに、自分たちの手で、よい本を手渡していきたい――そんな思いから始められたこれらの図書館・文庫にも、ぜひ足を運んでみてください。

- **『東京子ども図書館』（東京都中野区江原町）**（https://www.tcl.or.jp/）
- **『かつら文庫』（東京都杉並区荻窪）**
  （東京子ども図書館ホームページ（トップ＞利用する＞子ども・親子の利用＞
  かつら文庫のごあんない（子ども））で詳細が読めます）
- **杉並区内で活動中の家庭文庫**

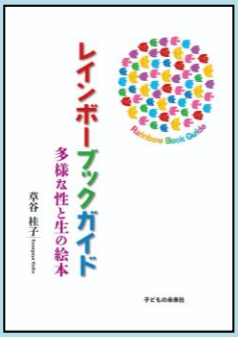
1	ジルベルト文庫
2	ちいさいおうち文庫
3	バンビぶんこ
4	ポケット文庫
5	ポプラ文庫
6	このあの文庫
7	子どもの本の家 ちゅうりっぷ

2024年度現在、杉並区立図書館で貸出等の支援を行っている家庭文庫です。詳しくは、中央図書館までお問い合わせください。

コラム④ ◆ 悩みがあるとき、こんな本はいかがですか？

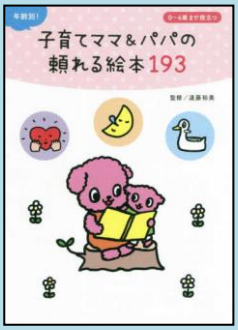
子どもと向き合う日々は、さまざまな悩みと向き合う日々でもあるかと思います。悩める自分に、または子どもに手渡す本を探したいときには、こんなガイドをどうぞ。

● **『レインボーブックガイド　多様な性と生の絵本』**
（草谷 桂子／著、子どもの未来社／発行、2022 年、019.5 ク）
「男の子／女の子らしさ」や「ふつうの家族」など、まわりから押しつけられる価値観になじめないと思ったとき、「大丈夫だよ」と勇気づけてくれるような絵本を紹介。戦争、いじめ・暴力・虐待、ハンディキャップなどについて考えさせてくれる作品も収録。

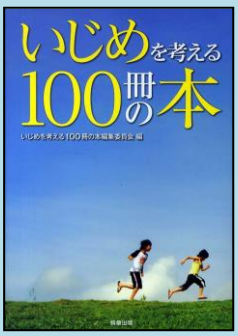


● **『子どもの本から世界をみる　子どもとおとなのブックガイド 88』**
（石井郁子／著、かもがわ出版、2020、019.5 イ）
保育・教育・心理学の研究者、教師、司書らによるブックガイド。貧困・異文化・障害など、幼児から高校生までの世代を取り巻くテーマから、「ともに生きる」ことを考えるための 88 冊を紹介。子どもはもちろん、おとなにも読んでほしい本が選ばれています。

● **『年齢別！子育てママ＆パパの頼れる絵本 193』**
（遠藤 裕美／監修、ユーキャン学び出版／発行、2020 年、019.5 ユ）
ファーストブック選びから、トイレトレーニングや寝かしつけ、入学前の準備まで、0 歳～6 歳までの子育てをサポートしてくれる絵本を多数紹介。年齢別に発達段階に合わせた育児のアドバイスも豊富にあり、絵本を通じて子育てをサポートしてくれる一冊。



● **『いじめを考える 100 冊の本』**
（いじめを考える 100 冊の本編集委員会／編、駒草出版／発行、2013 年、019.5 イ）
ベテランの教員などが、いじめを描いた本、いじめについて考えるための本 107 冊を選んだブックガイド。幼児から高校生まで、対象年齢別に紹介されている。あらすじや印象的な部分の引用も読める。



杉並区立中央図書館
2016 年８月１日発行
2017 年 10 月１日改訂
2018 年３月１日改訂
2021 年２月１日改訂
2025 年3月1日改訂
（代表）03-3391-5754